

# 前作としてブロッコリーを作付けすることによるナス半身萎凋病の発病抑制

ナス半身萎凋病の発生は、ナスを定植する前にブロッコリーを作付けすることによって減らすことができる。

## 研究開発の背景

- ・土壌病害であるナス半身萎凋病は全国的に発生しており、甚大な被害を引き起こしている。
- ・本病害の防除は土壌くん蒸が有効であるが、環境への負荷が懸念されるとともに、生産者の高齢化に伴って作業労力も大きな負担である。
- ・土壌くん蒸に代わり、環境負荷が少なく、持続的なナス半身萎凋病の管理技術が求められている。

## 研究成果の内容

### 環境負荷の少ない持続的なナス半身萎凋病管理技術



①発病圃場



②ブロッコリー定植



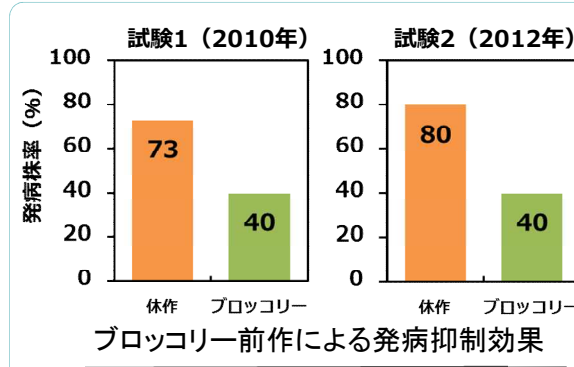
③栽培・収穫



④残渣のすきこみ

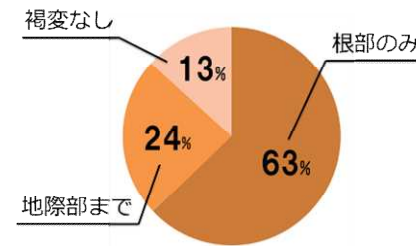
発病圃場にブロッコリーを前作してすきこみする。

導入メリット



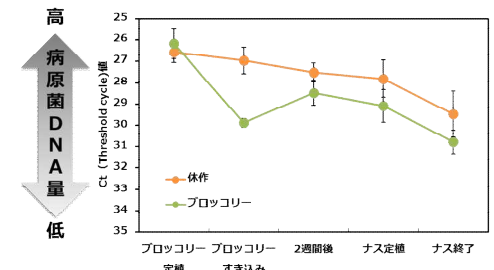
ブロッコリー前作による発病抑制効果

ブロッコリー前作で発病は抑制



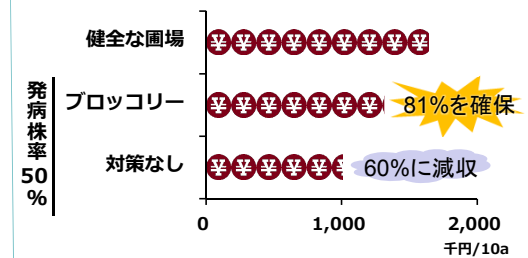
発病圃場におけるブロッコリー根部褐変程度

発病圃場でもブロッコリーは収穫可能



ブロッコリーおよびナス栽培期間中の病原菌DNA量の推移

ブロッコリーの栽培で病原菌減少



ブロッコリー前作した場合のナス粗収益

ブロッコリー前作で健全圃場の81%を確保

## 期待される効果

- ・ブロッコリーを補完作物とするナスの安定的かつ持続的な栽培体系の構築
- ・土壌くん蒸を回避する環境保全型農業の促進

導入をオススメする対象  
全国のナス生産者・生産団体